

## 弥生人養成講座

実施日：平成 27 年 8 月 29 日（土）

### 「弥生の技」第 2 回 弥生の建築技術と道具の歴史

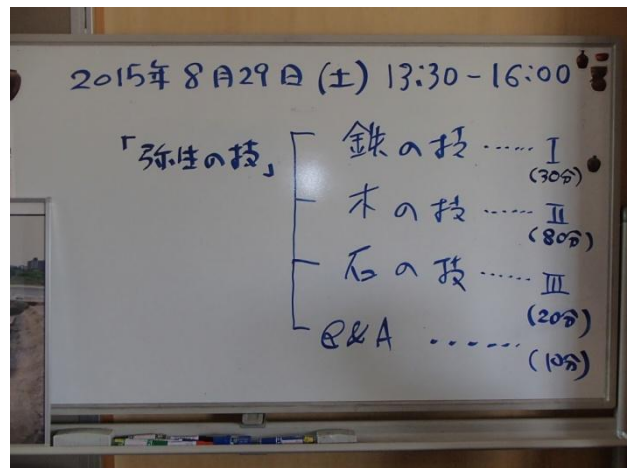
講師：建築技術史研究所所長 渡邊 晶さん  
参加者：18 人

講演では、今から 2000 年以上も昔の弥生時代に、石器のみならず、鉄器を使った様々な建築道具や、木材を「幅が広く薄い板」に加工する技術や、板と板を接合するための技術など、高度な建築技術を使い建物を建てていたことが分り、有意義な時間を過ごしました。

また、下之郷遺跡から出土した木製品に、鉄器で削った痕跡があったことに驚きました。ただし、鉄器は当時貴重なものだったため、様々な用途に流用されたり、錆びてボロボロになったり等の理由で遺跡からは出土しにくいそうです。

下之郷遺跡の環濠集落に住んでいた弥生人も、鉄器を使って建物を建てていた可能性があるとのことお話ししました。

\* 渡邊 晶さんの講座風景



\* 左：石斧（せきふ） 右：石斧の柄と加工された木材



\*一番上の加工された木に鉄器で削られた痕跡がみられる。



\*石斧の柄を構成する部品

